

国芳の団扇絵

—猫と歌舞伎とチャキチャキ娘

2024年6月1日（土）～7月28日（日）

前期6月1日（土）～6月25日（火）

後期6月29日（土）～7月28日（日） ※前後期で全点展示替え



見てヨシ、推してヨシ、あおいでヨシ！

歌川国芳（1797～1861）は多彩なジャンルで活躍し、現代人にも人気の浮世絵師です。これまでさまざまに紹介されてきましたが、本展では史上初めて、国芳の団扇絵だけをご覧ください。

団扇は、江戸っ子にとって夏の暑さをしのぐための必需品でしたが、同時にデザインを楽しむお洒落のアイテムでもあり、また歌舞伎ファンにとっては大事な推し活グッズでもありました。この団扇を作るための浮世絵、すなわち団扇絵も実は人気が高く、国芳も積極的に手がけていたのです。消耗品であることから現存数が少ないなか、本展では初展示作品、約100点を含む220点をご紹介します。目にも楽しく涼しげな、そして知られざる国芳団扇絵の世界を存分にお楽しみください。

ここがレア！① 世界初！団扇絵の美品が揃う

実用品である団扇絵はボロボロになるまで使われる運命にありました。しかし今回ご紹介するのは彫摺が良く保存状態も優れた作品ばかりです。団扇絵の美品が揃うだけでも非常に珍しいのですが、くわえて国芳の魅力の深堀りもできる貴重な機会といえるでしょう。

ここがレア！② これも国芳!? 初展示作品が約100点

代表作「鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘」や「猫の曲まり」だけでなく、約100点の初展示作品も見どころです。これらには役者絵や美人画、またお店の宣伝用に作られたものや謎解き尽くしのものなどが含まれており、江戸の人々が日常で触れた情報や娯楽、また国芳の細やかな仕事を伝えてくれます。

ここがレア！③ 実は役者絵も美人画も人気

ユーモラスな戯画やパワフルな武者絵のイメージが強い国芳ですが、団扇絵の題材として多いのは意外にも役者絵と美人画。暮らしのなかで使う団扇絵には親しみやすいテーマを選んでいたことがうかがえます。とりわけ女性たちのいきいきとした表情が大きく描かれた作品は見応え充分。江戸っ子に愛された愛嬌いっぱい国芳美人をご覧ください。

ここがレア！④ 推し活グッズの原点、ここにあり!?

団扇は現代の推し活で欠かせないグッズですが、実は江戸時代も同様でした。人気役者を描いた団扇絵が根強い人気を誇っていたのです。当時の人々も大好きなスターの姿を日用品に取り入れることで、応援するだけでなく、彼らと日常をともにする感覚も楽しんだのでしょう。その熱い思いにも触れてみてください。



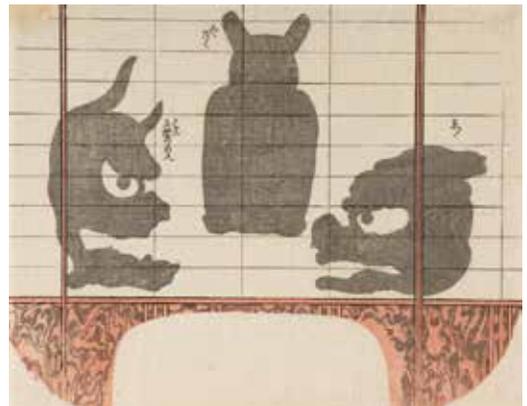
(1) 歌川国芳「鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘」(前期展示)



(2) 歌川国芳「猫の曲まり」(後期展示)



(3) 歌川国芳「絵鏡台 合かか身 猫/しし・みみづく・はんにやあめん」(前期展示)



(4) 歌川国芳「諸島やすうりづくし」(後期展示)



(5) 歌川国芳「船弁慶」(後期展示)



(6) 歌川国芳「夕寿豆美」(前期展示)



(7) 歌川国芳「春の虹蜥」(後期展示)



(8) 歌川国芳「逢世八棟 湯しま暮雪」(後期展示)



(9) 歌川国芳「ちょぼくれおはま 瀬川路之助 花見がへり 沢村訥升」(前期展示)

学芸員によるスライドトーク

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

2024年6月11日(火)、6月19日(水)

7月12日(金)、7月17日(水)、7月23日(火)

各回11:00より 約30分程度 定員50名

当日10:30より美術館受付にて整理券を配布します。

タイトル 国芳の団扇絵 一猫と歌舞伎とチャキチャキ娘

英タイトル Fan Pictures by Kuniyoshi -Cats, Kabuki Actors and Girls

会期 2024年6月1日(土)～7月28日(日)

前期 6月1日(土)～6月25日(火)

後期 6月29日(土)～7月28日(日) ※前後期で全点展示替え

協力 ギャラリー 紅屋

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日(7/15は開館)、6/26-6/28(展示替えのため)、7/16

入館料 一般1000円 大高生700円 中学生以下無料

リピーター割引 会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引(他の割引との併用不可)

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式Twitter @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail om@ukiyoe-ota-muse.jp

展示担当: 赤木美智 広報担当: 金塚さくら



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら